

- 問1 明治時代後半の貿易において、1880年代から国内生産が急伸し、1897年には輸出量が輸入量を上回ることとなった品目と、それを生産した工業分野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
1. 綿糸を生産する紡績業 2. 生糸を生産する製糸業 3. 鋼材を生産する鉄鋼業 4. 綿織物を生産する織物業
-
- 問2 日清戦争前の東アジアの国際情勢について、当時の風刺画などから読み取れる、日本と清が朝鮮半島をめぐる対立した背景として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島に対する従来の宗主権を維持しようとする清と、その影響力を排除しようとする日本の対立 2. ロシアの南下政策に対抗するため、日本と清が朝鮮半島を共同で統治しようとしたことによる対立 3. 朝鮮半島での不平等条約を撤廃させるため、日本と清がどちらが先に交渉を行うかを競ったことによる対立 4. 韓国併合を強行しようとする日本に対し、清が朝鮮半島の独立を守るために軍を派遣したことによる対立
-
- 問3 20世紀初頭の東アジア情勢に関する歴史的背景を説明する記述において、清の専制政治を倒すために「三民主義」を唱え、1911年に発生した辛亥革命を指導した人物として適切なものを選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 孫文 2. 袁世凱 3. 蒋介石 4. 溥儀
-
- 問4 日清戦争後の講和条約において、日本は賠償金のほかに台湾や澎湖諸島、および遼東半島を獲得しました。しかし、日本の大陸進出を警戒したロシアが、ドイツ・フランスとともにこの半島を清に返還するよう日本に強く要求した出来事を何といいますか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 三国干渉 2. 三国同盟 3. 日英同盟 4. ポーツマス条約
-
- 問5 1890年代後半に綿糸の輸出量が輸入量を上回るという劇的な変化が起きましたが、この現象が日本の経済史において持つ意義として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
1. 海外から原料を輸入し、国内で工業製品に加工して輸出するという加工貿易の国へ成長する第一歩となった。 2. 国内の綿糸生産が需要を大幅に超えたため、政府が強制的に海外へ在庫を売却する政策をとったことを示している。 3. 重化学工業の発展により、機械類を輸入に頼らず自国で全てまかなえるようになったことを示している。 4. 欧米諸国との不平等条約を改正するために、あえて輸入を制限して貿易黒字を演出した結果である。
-
- 問6 明治政府は、近代化を進める「殖産興業」政策の一環として、群馬県に官営模範工場を設立しました。この工場で生産され、当時の日本の主要な輸出製品となったものは何か、工場の名称と製品の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 鳥取公立入試 類似)
1. 富岡製糸場 ― 生糸 2. 富岡製糸場 ― 綿糸 3. 八幡製鉄所 ― 鉄鋼 4. 大阪紡績会社 ― 綿糸
-
- 問7 1871年に派遣された岩倉使節団の一員として欧米を視察した後、ドイツ（プロイセン）の憲法を参考にして大日本帝国憲法の草案を作成し、1885年に創設された内閣制度において初代内閣総理大臣に就任した人物を選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 伊藤博文 2. 板垣退助 3. 大隈重信 4. 山県有朋
-
- 問8 大日本帝国憲法の草案作成にあたり、伊藤博文がビスマルクなどの人物から助言を受け、プロイセン憲法を参考にした結果として定められた、この憲法の形式上の特徴はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 天皇が国民に授けるという形式をとった欽定憲法である。 2. 国民が自分たちで話し合って制定したという形式の民定憲法である。 3. 内閣総理大臣を国民の直接選挙によって選出することを定めた憲法である。 4. 人権を制限なく認め、天皇の権限を儀礼的なものに限定した憲法である。
-
- 問9 明治政府が長年の課題としていた不平等条約の改正について、1894年にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた外務大臣は誰ですか。 (2026年 高知公立入試 類似)
1. 陸奥宗光 2. 小村寿太郎 3. 岩倉具視 4. 伊藤博文
-
- 問10 明治維新後、長州藩出身で初代内閣総理大臣を務めた人物が中心となり、ヨーロッパの制度を調査した上で大日本帝国憲法が起草されました。この人物が憲法制定にあたって最も手本とした国の憲法はどれですか。 (2018年 三重公立入試 類似)
1. 国王の権限が制限され、議会政治の伝統を持つイギリスの憲法 2. 人民主権を基本とし、大統領制を採用しているアメリカの憲法 3. 君主権が非常に強く、当時の日本の状況に近いと考えられたドイツ（プロイセン）の憲法 4. 人権宣言の影響を強く受け、国民の自由を重視したフランスの憲法
-
- 問11 1890年に実施された第1回衆議院議員選挙における有権者の資格について、性別・年齢・経済的条件を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 直接国税を一定額以上納める、満25歳以上の男子 2. 直接国税を一定額以上納める、満20歳以上の男女 3. 地租を5円以上納めている、満25歳以上の男子 4. すべての所得税を納めている、満30歳以上の男子
-
- 問12 西南戦争が終結したことが、その後の反政府運動の形式に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. 武力による政府打倒の限界が明らかになり、言論によって国会の開設などを求める自由民権運動が主流となった。 2. 政府軍の弱点が露呈したため、各地で農民による武装蜂起がさらに激しさを増すようになった。 3. 士族の力が再評価され、政府は旧武士階級に対して特権を一部返還する政策に転換した。 4. 西郷隆盛の死をきっかけに、政府内では征韓論を支持する勢力が再び主導権を握った。
-
- 問13 1890年代後半の日本の貿易統計において、1892年当時には輸入品の上位にあったものが、国内での機械による生産が拡大したことで1899年には主要な輸出品へと転じた製品と、それに関連して輸入量が増加した原料の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 製品：綿糸、原料：綿花 2. 製品：生糸、原料：蚕の繭 3. 製品：綿織物、原料：羊毛 4. 製品：鉄鋼、原料：鉄鉱石
-
- 問14 福沢諭吉がその著書『学問のすゝめ』を通じて、当時の日本国民に最も強く訴えかけた内容はどれですか。 (2025年 愛媛公立入試 類似)
1. 身分に関わらず実用的な学問を学び、個人が独立することで国家の独立を果たすこと 2. 西洋の進んだ武器や技術のみを取り入れ、日本古来の身分秩序を維持すること 3. 政府の命令に従順に従うことで、欧米列強に負けない強い軍隊を作ること 4. 和歌や漢学などの伝統的な教養を深め、日本人の精神性を高めること

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|---|---|
| 問1 | 答え 1 綿糸を生産する紡績業 | 1880年代に大阪紡績会社などが設立され、蒸気機関を用いた大規模な機械生産が始まったことで、綿糸の国内生産量は飛躍的に増加しました。その結果、1890年には国内生産量が輸入量を上回り、1897年には輸出量が輸入量を追い越して輸出超過となりました。これにより、日本は軽工業を中心とした産業革命を成し遂げていくことになります。 |
| 問2 | 答え 1 朝鮮半島に対する従来の宗主権を維持しようとする清と、その影響力を排除しようとする日本の対立 | 明治維新を経て近代国家への転換を図った日本は、大陸への進出や自国の安全保障の観点から、朝鮮半島における清の影響力を排除し、朝鮮を日本寄りの独立国にしようと考えました。一方の清は、長年続けてきた朝鮮との宗主・臣属関係を維持しようとしたため、両国の間で激しい主導権争いが起こりました。これが日清戦争前の東アジアにおける国際情勢の大きな特徴です。 |
| 問3 | 答え 1 孫文 | 清の支配に対する不満が高まる中、ハワイや日本などで革命運動を組織した人物についての問いです。彼は「民族の独立」「民権の伸張」「民生の安定」からなる三民主義を革命の基本方針に据えました。1911年に武昌での蜂起をきっかけに辛亥革命が始まると、翌1912年に中華民国が建国され、彼はその初代臨時大總統に就任しました。選択肢にある袁世凱はその後を継いだ軍閥の有力者、溥儀は清の最後の皇帝、蒋介石はのちに国民政府を率いた人物です。 |
| 問4 | 答え 1 三国干渉 | ロシアは自国の東アジア進出を有利に進めるため、日本が遼東半島を領有することに反対しました。日本は当時の軍力ではこれら3カ国に対抗できないと判断し、返還要求を受け入れました。この出来事の結果、日本国内ではロシアへの対抗意識が強まり、軍備拡張が進むこととなりました。 |
| 問5 | 答え 1 海外から原料を輸入し、国内で工業製品に加工して輸出するという加工貿易の国へ成長する第一歩となった。 | 綿糸の輸出超過への転換は、日本が単なる原料供給国や製品輸入国から、近代的な工業国へと脱皮した象徴的な出来事です。1896年には原料である綿花の輸入関税が撤廃され、安い原料を輸入して高度な製品に加工してアジアなどへ輸出する「加工貿易」のモデルが確立されました。これは日本の初期産業革命における重要な転換点です。 |
| 問6 | 答え 1 富岡製糸場 ― 生糸 | 明治政府は外貨を獲得して国力を高めるため、輸出産業の育成を急ぎました。その中心となったのが生糸（カイコの繭から作られる糸）であり、品質向上と機械技術の普及のために富岡製糸場が設立されました。選択肢にある「綿糸」は、主に国内の衣類原料として後に発展しますが、明治初期の輸出の主役は生糸でした。 |
| 問7 | 答え 1 伊藤博文 | 欧米視察で近代国家の仕組みを学んだ後、日本の国情に合った憲法を制定するため、君主権の強いドイツの憲法を研究しました。内閣制度の確立や憲法の起草において中心的な役割を果たし、日本の立憲政治の基礎を築いたほか、のちに立憲政友会を組織して政党政治にも関わりました。 |
| 問8 | 答え 1 天皇が国民に授けるとい形式をとった欽定憲法である。 | 大日本帝国憲法は、主権者である天皇が国民（臣民）に与えるという形式をとっており、これを「欽定憲法（きんていけんぽう）」と呼びます。これは君主権の強さを定めたドイツの憲法体制に倣ったもので、主権が国民にある現在の日本国憲法（民定憲法）とは大きく異なる点です。 |
| 問9 | 答え 1 陸奥宗光 | 幕末に結ばれた不平等条約には、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない領事裁判権の容認が含まれていました。外務大臣を務めた陸奥宗光は、東アジア情勢の変化を背景にイギリスとの交渉を有利に進め、日清戦争が始まる直前の1894年に、この権利の撤廃を含む条約改正を成功させました。 |
| 問10 | 答え 3 君主権が非常に強く、当時の日本の状況に近いと考えられたドイツ（プロイセン）の憲法 | 伊藤博文は、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くため、君主権が強いドイツ（プロイセン）の憲法を参考にしました。彼は実際にヨーロッパへ渡って調査を行い、日本の国情に適合する立憲君主制の枠組みを作り上げました。 |
| 問11 | 答え 1 直接国税を一定額以上納める、満25歳以上の男子 | 大日本帝国憲法の公布後、初めて実施された総選挙では、納税額に基づいた制限選挙制度が採用されました。具体的には、直接国税（地租や所得税）を15円以上納めている満25歳以上の男子のみ選挙権が与えられていました。これにより、当時の有権者は全人口のわずか1.1%程度に留まっていました。 |
| 問12 | 答え 1 武力による政府打倒の限界が明らかになり、言論によって国会の開設などを求める自由民権運動が主流となった。 | 西南戦争において、近代的な装備と徴兵制に基づく政府軍が土族の軍隊を破ったことは、もはや武力で政府を倒すことは不可能であるという認識を広めました。これにより、反対運動の矛先は「武力」から、建白書の提出や演説会といった「言論」による自由民権運動へと大きくシフトしていくこととなりました。 |
| 問13 | 答え 1 製品：綿糸、原料：綿花 | 明治時代中期、大阪紡績会社の成功などをきっかけに、蒸気機関を用いた大規模な工場制機械工業が普及しました。これにより綿糸の国内生産量が急増し、1890年には生産量が輸入量を、1897年には輸出量が輸入量を上回りました。この変化に伴い、国内で消費される綿糸を製造するための原料となる綿花の輸入が、貿易構成において大きな割合を占めるようになりました。 |
| 問14 | 答え 1 身分に関わらず実用的な学問を学び、個人が独立することで国家の独立を果たすこと | 福沢諭吉は、欧米列強の脅威から日本の独立を守るためには、国民一人ひとりが古い習慣に縛られず、読み書きや計算といった実学を身につけて自立（独立自尊）する必要があると考えました。個人が政府に頼らず自立することが、結果として国全体の力を強めることになると説いたのです。 |